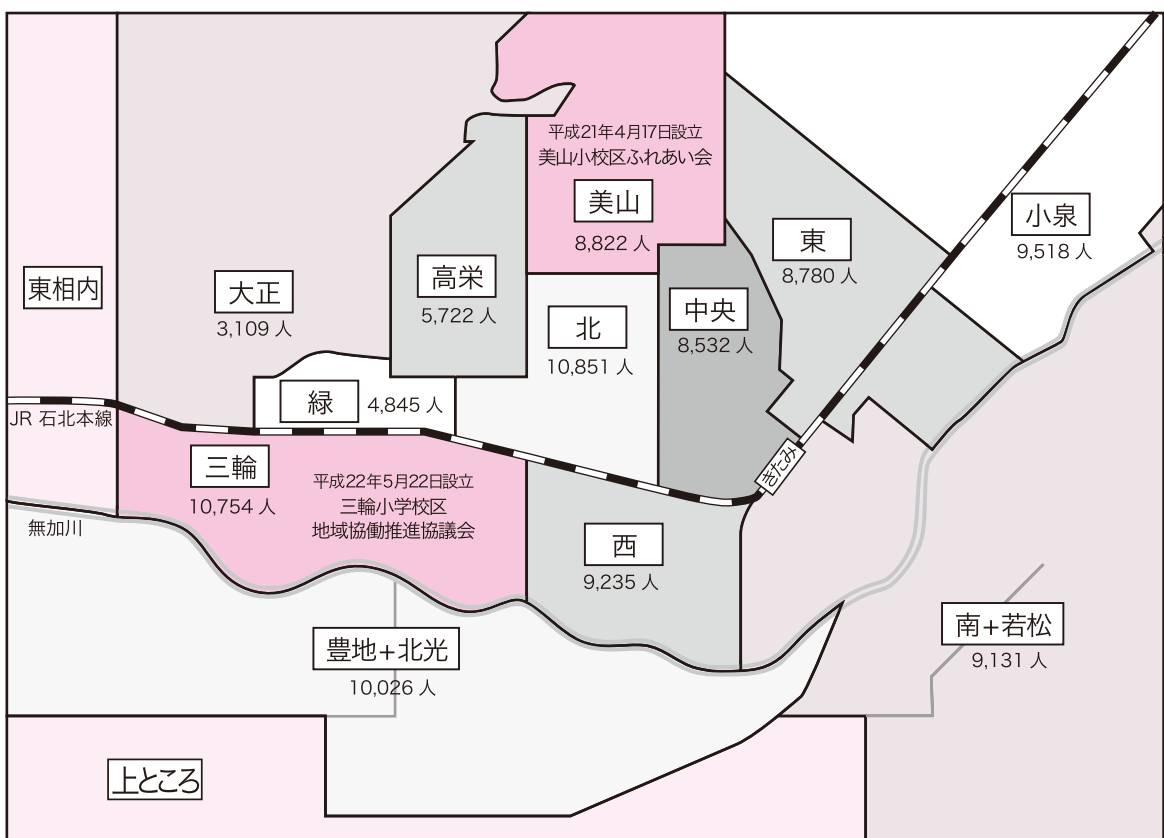


地域性豊かな 活動を紹介!!

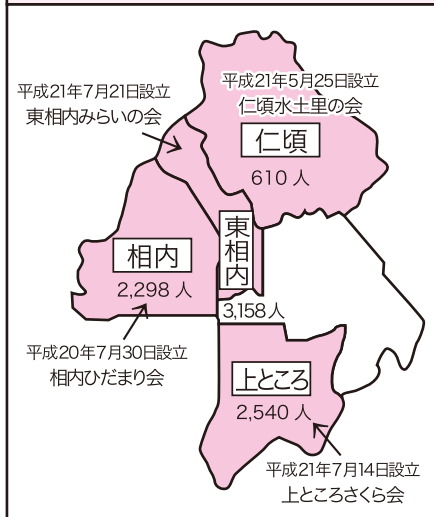
北見市では、少子高齢社会に対応して、地域協働による住民主体のまちづくりを進めています。
北見自治区内を16に分けて、おおむね小学校区※ に一つの住民協働組織設立を推進しており、平成23年4月までに、6地域で設立されました。

地域で考え、話し合い、各団体同士のネットワークを生かした活動が展開されています。



※地図上の人口は区域内の平成22年3月末現在。

※地図上の は設立地域です。



※おおむね小学校区ごとの区割りについて

小学校区を単位とするのは、子どもを中心とした地域での活動が一番交流を図ることができるからです。

もちろん、地域の实情に合せた柔軟な区割りが望ましいと考えてはいますが、「住民協働組織」は、複数の団体が連携してネットワークを持つことで、互いに助け合い、課題解決を図ることを目指しているため、市では、おおむね小学校区ごとの区割りを推進しています。

相内ひだまり会

平成 20 年 7 月 30 日設立／阿部俊幸会長

構成団体：連合町内会（4）、単位町内会（20）、PTA、文化連絡協議会、防犯協会、相内地域まちづくりの会、訪問看護ステーションなど地域団体 48 団体で構成。

ログハウス風のバス停留所



通学・通院・買い物等で、乗合自動車（バス）を利用する町民から、「停留所での風・雨・雪をしのげる場所とベンチが欲しい」との要望がありました。

平成 22 年度は一番使用者の多い小学校前に 1 基作成しました。

地域マップ拡大版



平成 21 年度、相内町内に配布した『町内マップ』が大変町民に好評でした。「町内に掲示板として、数か所設置しては・・・？」という要望があったので、平成 22 年度は 4 か所（国道の本沢入口・国道の相内駅入口・相内支所前・豊田住民センター）に設置しました。

文化祭とパネル作成



平成 21 年 12 月に住民センターが完成し、2 年間発表の場がなかった文化活動の作品・成果が、10 月 16・17 日に相内町内文化発表会として再開できました。住民センターの室内は窓が多く、壁スペースが少ないため、「展示用のパネルがほしい」との要望があったので、今回作成しました。文化祭には写真愛好会が初参加しました。

○会計 江頭和夫さんから一言



相内ひだまり会が設立して 3 年が経ちました。町民の皆様にもだんだん「住民協働組織」を理解し、協力頂ける様になりました。「ひだまり会」を中心に、各団体の体制・協力もスムーズになりつつあります。毎年少しずつ前進していきたいです。平成 23 年度は、各団体との組織関係・つながりを整備したいと考えています。

美山小校区ふれあい会

平成 21 年 4 月 17 日設立／中村嘉孝会長

構成団体：18 団体＋民生・児童委員＋公募市民で構成。

美山小校区わんわんパトロール



この取り組みは、愛犬の散歩をしながら防犯パトロールをしようというもので、参加者は当会貸与のパトロール標識をリード（引き綱）に着用して散歩します。10月には出発式を開催し、愛犬8頭と飼い主や地域住民が参加する中、北見警察署と合同でパトロールを実施しました。現在は各自が自由に日常の散歩の範囲内でパトロールをしています。

りんご生育観察会



地域の宝である昭和地区の果樹園において、親子のふれあいや住民交流を図るため、りんご生育観察会を開催しました。美山小学校の児童と保護者、地域住民が参加し、6月に花の観察や押し花づくり、7月に果実の間引きや下草刈りを行い、10月にはりんごを収穫することが出来ました。

美山地区ふれあい夏まつり



ふれあい会と、地区子ども会や児童センターとの連携で、初めて夏まつりを開催しました。

美山地区の小・中学生や地域住民など460人が来場し、射的コーナーやシャボン玉づくりなどの体験コーナーで遊んだり、焼き鳥などの縁日や盆踊りを楽しみました。

○会長 中村嘉孝さんから一言



平成22年度は、北見市で初のわんわんパトロールや関係町内会と合同で青葉通りの雑草除去をしたほか、施設見学会やふれあい小旅行などたくさんの事業を実施しました。平成23年度は、設立3年目を迎えることから、今以上に地域の皆さんに活動を知ってもらえるよう、町内会活動とはまた違った、住民協働組織ならではの活動に取り組んでいきたいと考えています。

仁頃^{みどろ}水土里の会

平成 21 年 5 月 25 日設立／高井憲一会長

構成団体:自治連合会 (4)、単位町内会 (14)、学校及び PTA、消防団、農協青年部、仁頃香りの会、美里そばの会、高齢者クラブなど地域団体 45 団体で構成。

高齢者火災警報器設置事業



火災警報器の設置義務化に伴う北見市の高齢者福祉対策の設置支援事業と併せて、地区民生委員と連携協力し、市の対象外となった仁頃地区の高齢者世帯に対し、水土里の会として火災警報器の設置支援事業を実施しました。14 世帯に支援を行いました。

仁頃5地区親睦パークゴルフ大会



2年前から地域住民の健康増進と親睦交流を目的として、仁頃3地区(仁頃、大和、北陽)で実施していましたが、平成22年度は水土里の会協賛事業として、上仁頃、美里地区住民にも参加を呼びかけ、5地区から40人の老若男女が参加して行われました。

パーク終了後表彰式が行われ、参加者全員で昼食をとりながらパークゴルフ談義に花を咲かせていました。

仁頃高校そば打ち体験地域交流事業



平成23年3月をもって廃校となる仁頃高校生徒、教員たちと地域住民がそば打ち体験を通して、地産地消とふれあい交流を深めようと、平成21年に引き続き実施しました。

美里そばの会のメンバーの指導を受け、前年以上の参加者で盛り上がり、そば打ちの腕を磨くとともに、打ち立ての地域産新そばを堪能しました。

○会長 高井憲一さんから一言



住民協働組織への交付金は地域住民にとって有意義な施策であり、昨今の少子高齢化や人口減少が加速する過疎的地域にとって、まさしく協働のまちづくりにより地域衰退の歯止め効果に寄与できるものと確信します。

仁頃地域でも、相次ぐ学校の廃校により過疎化の進行は拒めませんが、時代に即した住民活動を展開し、一人ひとりの住民意識を高め、地元発信のまちおこしにより活性化が図られていくことを期待しています。

上ところさくら会

平成 21 年 7 月 14 日設立／佐藤豊志会長

構成団体：連合町内会（5）、単位町内会（29）、学校及び PTA、商工振興会、消防団、ホタル友の会、NPO、高齢者クラブなど地域団体 62 団体で構成。

ふれあい道路補修事業



遊歩道として地域住民が利用している「ふれあい道路」の付帯施設・設備の塗装が劣化してきたので、会員 25 人が参加し、東屋 2 棟、滑り台 1 基、ベンチ 10 脚、車止め 10 本、街路灯 7 柱の再塗装作業を行いました。使用した塗料は市が用意し、宮本塗装店から技術指導と労力提供などの多大な協力を得て、炎天下、汗だくの作業でしたが、上々の仕上がりとなりました。

非常時対応訓練事業



震度 6 強の地震により、上ところ地域に大規模な災害が発生したことを想定し、80 人の住民が参加して、事態に対応するための訓練を行いました。

小雨が降る悪条件ではありましたが、北見市、北見地区消防組合、北見消防団の指導協力を得て、①避難所への避難訓練、②救急救命講習会（AED の取り扱い及び心肺蘇生術の講習）、③避難体験（非常食の試食と味噌汁の炊き出し）を混乱なく実施できました。

桜の講習会



松谷建設（株）との共催で、地域の大切な財産である「金刀比羅山の桜」の管理に関する講習会を開催しました。斎藤新一郎先生（環境づくり研究所所長）を講師に、「桜の木を健康に育てるポイントや病気の対処法」について室内講習を受けた後、金刀比羅さくら公園にバスで移動し、桜の木を前に、樹木の診断方法、剪定方法などの実技指導を受けました。会員 45 人が参加しました。

○会長 佐藤豊志さんから一言



設立 2 年目のさくら会、既存の事業に加え、新たな事業も実施したことにより、地域での認知度は高まってきました。各組織間のネットワークも、より強固に構築されつつあります。北見市の中で上ところ地域が、最も住みやすい場所となることをめざして、持続発展する「さくら会」活動を今後も展開します。

東相内みらいの会

平成 21 年 7 月 21 日設立／山崎努会長

構成団体：連合町内会（1）、単位町内会（15）、学校及び PTA、子ども会、消防団、
体育振興会、高齢者クラブなど地域団体 44 団体で構成。

東相内夏まつり



東相内出張所前広場にて、東相内連合町内会を始めとした「町づくり環境部会」が中心となって開催しました。出店や地場産もち米の餅まき、子ども・大人盆踊りを行い、大勢の参加で盛り上がりました。また同会場で「安全・安心部会」が防火・防犯パンフレットを配布し、啓発を行いました。

東相内敬老のつどい



東相内住民センターで「健康福祉部会」が中心となり、地域在住の 75 歳以上の方を対象に長年にわたる地域・社会への貢献を感謝して、「東相内敬老のつどい」が行われました。参加者は、保育園児の遊戯、大正琴、日本民謡舞踊、詩吟などの余興で楽しいひと時を過ごしました。

東相内地区町民大運動会



東相内小学校グラウンドで「住民交流部会」の体育振興会が中心となって開催しました。幼児からお年寄りまで参加できる種目を行い、交流を深めました。

また、同会場で、「安全・安心部会」の消防後援会、消防団、婦人防火クラブが中心となって消火訓練を行い、防火意識の高揚が図られました。

○事務局長 高橋徹さんから一言



平成 22 年度は新たな活動として、「敬老のつどい」、「公園感謝祭」、「地場産もち米の PR」を行うことが出来ました。

来年度は住民への広報活動の充実と新たな団体・有志の加入呼び掛けを行い、幅広く活動の輪を広げていきたいと思っております。

三輪小学校区地域協働推進協議会

平成 22 年 5 月 22 日設立／小山田幸夫会長

構成団体：連合町内会（2）、単位町内会（61）、PTA、高齢者クラブ、保育園・子育て支援センター、子ども会など地域団体 70 団体で構成。

三世代交流 冬のつどい



三輪小学校体育館で、子どもからお年寄りまで集まり、昔ながらの遊びを通じて、文化や生活等を伝承しながら、老若男女の世代間交流を行いました。

参加人数は約 150 人で、縄跳び、綱引き、けん玉、紙風船、羽子板、お手玉、餅つき等で、楽しみました。昼にはお雑煮、お汁粉を味わいました。

砂まきボランティア



子ども・高齢者の方々が冬道の歩道、横断歩道を安全に、安心して通れるように、3月まで国道等の危険箇所に砂まきを実施しました。

砂まきの砂等は、開発建設部北見道路事務所・北見市の協力を得て実施しました。60人が参加しました。

親子バス研修



家庭または学校生活以外の違った環境の中での体験・経験をとおして児童の健全育成を図ることを目的に開催しました。東藻琴「乳酪館」での手作りアイスクリームに 47 人の親子が挑戦しました。自分の手で一所懸命作った作りたての味に大人も子どもも満足げな表情をうかべていました。

○会長 小山田幸夫さんから一言



協働組織の立ち上げに際しまして、色々な問題が起きあがり、それを抱えながらやっと立ち上げることが出来ました。また従来の各事業との関係につきましても、より深く考えていかなければなりません。これからは、多くの方々の知恵とご協力を頂きたいと思ひます。

あなたの地域でも住民協働組織を立ち上げませんか! (北見自治区)

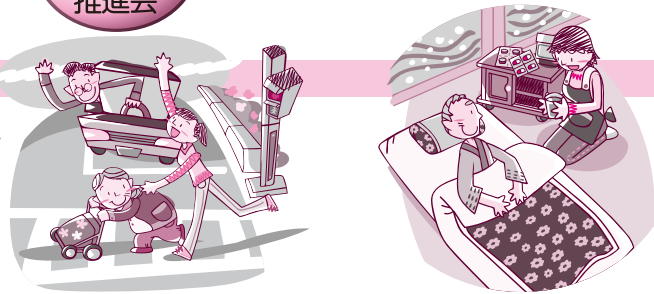
〈住みよいまちづくりは自分たちの手で!!〉

おおむね小学校区域にある各地域団体がネットワークをつくり、つながりを生かした地域活動を行うのが「住民協働組織」です。



◆地域で困っていることへの対処

・・・除雪、独居老人の見守りなど。



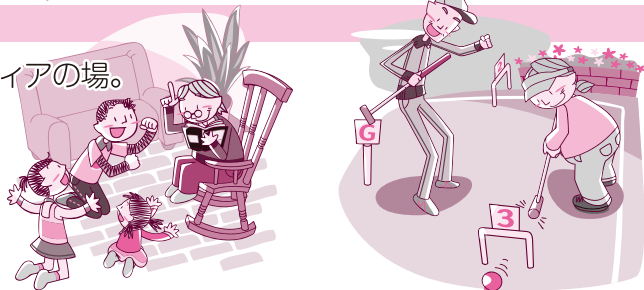
◆住民の交流

・・・子ども会行事、盆踊り、高齢者サロンや子育てサロンの開設など。



◆地域で社会貢献したい

・・・地域活動のお手伝い、ボランティアの場。



市では、北見自治区内全域での住民協働組織設立を促進するため、平成 23 年度も各地域への働きかけを続けます! 興味のある方は、市民協働推進課までお気軽にお問い合わせ下さい!

〈問い合わせ先〉北見市 市民環境部 市民活動推進室 市民協働推進課

電話：0157-25-1227